

## 献血の同意説明書「4. 血液の有効利用について」の説明

## 1. はじめに

献血血液（検査用検体の残りや検査により不適合となった血液など）を研究に使用することで、①血液製剤の有効性・安全性の向上及び検査法の向上のほかに、②病気の診断・治療法の開発が促進され国民の健康状態の改善などに役立つ可能性があります。

そのため、献血血液を研究に使用することへのご理解をお願いしています。

## 2. 対象となる研究について

①血液製剤の有効性・安全性の向上及び検査法の向上を目的とした研究のほかに、②病気の診断・治療や国民の健康状態の改善（国の公衆衛生の向上）を目的として行われる研究で、かつ献血血液を使用しないと実施が難しい研究が対象です。さらに外部の研究機関などから「献血血液の研究開発等への使用に関する公募」により申請され、日本赤十字社で承認された研究に限られます。これらの研究のために献血血液が外部研究機関などへ提供される際は、氏名や住所などの情報は切り離し、個人が特定できないようにします。

外部研究機関で実施される①の研究課題と研究内容が多岐にわたる②の研究課題を裏面に記載しました。なお、研究の内容により遺伝子を解析することがあります。

### 3. あなたの利益・不利益について

研究に使用する献血血液は、上記2のように、氏名や住所など個人を特定できる情報と切り離して使用するため、あなたに不利益はありません。また、個人的に受けれる利益もありません。

#### 4. 同意と撤回について

献血血液を研究に使用することは、あなたの自由意思による同意に基づきます。同意をしないからといってあなたの不利益になることはありません。

また、同意は、献血血液が研究に使用される前であれば撤回することができます。ただし、早ければ、採血翌日に使用される場合があります。

同意の撤回を希望される場合は、下記の連絡先までお電話をお願いします。

ご不明な点がありましたら、受付の職員にお申し出ください。

### 電話番号

無料     -   -

この電話は24時間対応の受信専用録音電話です。  
プッシュボタンによる採血番号等の入力はできません。

同意を撤回するためには、採血番号と生年月日の両方が必要です。  
あなたの声でお知らせください。

※採血番号については、献血時にお渡しするチラシ（右写真）の  
枠内に記載しております。

# 令和4年度実施の献血血液を使用する研究課題

裏面

研究課題（献血者説明用課題名）

- 1 【27J0003】 血液中の細胞に抗酸菌を感染させる実験から抗酸菌症の発症の仕組みを解明する
- 2 【28J0039】 ウィルス感染症に対するT細胞応答の解析
- 3 【28J0040】 ヒト臍帯血血液幹細胞の増幅と血球系細胞への分化能に関する研究
- 4 【28J0046】 B型肝炎発症の仕組みを解明する研究
- 5 【28J0064】 抗 HTLV-1 ヒト免疫グロブリンによる HTLV-1 の革新的感染予防モデルの開発とその有効性の検討
- 6 【29J0011】 日本国に移入される可能性のあるウイルスの高感度核酸検査法の開発
- 7 【29J0030】 ヘパトカインを標的とした診断薬・治療薬の開発
- 8 【29J0051】 血液中の免疫細胞を利用した、からだを守る仕組みの解明
- 9 【29J0056】 痛風・高尿酸血症リスクに関する ABCG2 遺伝子の解析：Jra 抗原陰性者の解析による新規リスク変異の検討
- 10 【29J0061】 血液ポンプによる赤血球の壊れやすさを計測する試験
- 11 【30J0004】 関節リウマチにおける骨破壊を抑制する方法の検討
- 12 【30J0031】 新規 HTLV-1 (ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型) 抗体検出試薬の開発
- 13 【30J0040】 血液製剤の病原体不活性化の研究と B 型・C 型肝炎ウイルスの培養系の開発
- 14 【30J0050】 癌における血液由来細胞の解析
- 15 【31J0005】 Medical gas による血小板保存法の開発
- 16 【31J0008】 A 型および E 型肝炎ウイルスに対する抗体の作製
- 17 【31J0014】 副作用の少ない抗がん剤の開発—血液蛋白質への作用研究—
- 18 【31J0016】 血漿から濃縮した止血因子の有効な作製方法の確立
- 19 【31J0017】 ドローンで血液を運ぶ研究
- 20 【31J0020】 心筋梗塞や脳梗塞を診断できる血液検査法の開発
- 21 【31J0021】 微振動が血流特性に与える影響についての研究
- 22 【31J0025】 回路チューブ内の血液凝固を検出するセンサを開発する研究
- 23 【31J0032】 有効期限を超えた血小板製剤の新たな活用法の検討
- 24 【31J0035】 若年の B 型肝炎ウイルス陽性者においてワクチンが効きにくい B 型肝炎ウイルスの存在を検討する研究
- 25 【31J0041】 体外式膜型人工肺 (ECMO) の使用が人体に与える影響の検討
- 26 【R020007】 iPS 細胞を用いた血小板製剤の開発
- 27 【R020008】 血液凝固反応を防止する技術の開発
- 28 【R020009】 ヒト濃縮多血小板血漿の不妊症マウスの子宮・卵巣投与による効果とその作用機序の解明
- 29 【R020018】 新しいヒト免疫不全ウイルス制御法の開発研究
- 30 【R020019】 悪性腫瘍に対する養子免疫 T 細胞療法の開発研究
- 31 【R020020】 安全な感染症予防等が期待できるヒト免疫記憶細胞の体外での製造方法の開発
- 32 【R020023】 血液検査利便性向上のための血球分離方法の開発
- 33 【R020026】 糖尿病の体外診断用医薬品の開発研究
- 34 【R020031】 大量出血した場合の止血機能の研究
- 35 【R030002】 新型コロナ感染症の理解のために、免疫系で抑制的に働く T 細胞を効果的に増やす方法を提案する
- 36 【R030006】 自己輸血を実施した前後で変化するバイオマーカーの検索
- 37 【R030007】 肺疾患に関わる免疫担当細胞の機能の解明
- 38 【R030016】 アレルギーに関係する T リンパ球の分化経路の解明
- 39 【R030017】 献血用検査試薬の性能向上
- 40 【R030018】 HIV 検査試薬の開発
- 41 【R030019】 ヒトサイトメガロウイルス抗体検出試薬の開発
- 42 【R030020】 ヒトパルボウイルス検出試薬の開発
- 43 【R030028】 医薬品を汚染する発熱性物質を血液で評価する方法の開発
- 44 【R030030】 iPS 細胞由来の HLA クラス I 欠失巨核球細胞のストックおよび血小板産生に関する研究
- 45 【R030031】 炎症におけるリンパ球機能の解析
- 46 【R030033】 乳酸菌から抽出した薬の成分と血小板が反応したときにおこる機能の変化との関連性の検討
- 47 【R030036】 T 細胞および制御性 T 細胞の解析研究
- 48 【R030037】 糖鎖を認識するタンパク質であるガレクチン 9 に血小板凝集の阻害作用があるか？
- 49 【R030039】 ① ヒトが元々持っている抗体の解析② ヘルペスウイルス検出技術の開発
- 50 【R030047】 ヒト樹状細胞前駆細胞の同定と新規培養方法の樹立
- 51 【R030048】 血液中のリンパ球を用いた癌治療法の研究開発
- 52 【R030049】 血液中の代謝物を網羅的に検出・解析する技術の活用に関する基礎研究
- 53 【R030050】 様々な病気の診断、治療法の開発に結びつく新しい免疫検査法の開発研究
- 54 【R040008】 体外で製造される血小板の研究開発
- 55 【R040014】 血液検査による感染症の診断法の開発
- 56 【R040015】 抗 B 型肝炎ウイルス抗体検査試薬の改良
- 57 【R040020】 治療用 iPS 細胞の製造法の開発
- 58 【R040022】 新鮮凍結血漿解凍装置の改良による製剤品質への影響
- 59 【R040023】 微細な酸素の泡を含んだ透析液と血液をブレンドすることで血液を酸素化し呼吸を助ける方法の研究
- 60 【R040025】 COVID-19 における免疫研究
- 61 【R040026】 麻酔薬の癌に対する免疫に及ぼす影響を探します
- 62 【R040027】 血小板製剤の長期間の保存を可能にするための研究
- 63 【R040028】 ウィルス特異的に反応する免疫細胞の解析
- 64 【R040032】 より優れた樹状細胞ワクチン製造技術の開発
- 65 【R040033】 血小板輸血による造血幹細胞移植後の合併症への影響
- 66 【R040034】 培養細胞での感染増殖が可能な B 型肝炎ウイルス株の同定
- 67 【R040036】 病気の治療・予防・診断に有用な血中因子の探索
- 68 【R040037】 免疫細胞の活性化を誘導する癌治療薬の開発
- 69 【R040038】 赤血球を急速に輸血すると、どの程度壊れるかについての研究
- 70 【R040041】 血液から白血球のみを分離する手法の開発
- 71 【R040042】 新規 B 型肝炎ウイルスの開発に用いる、抗体検出技術の開発
- 72 【R040043】 人の血液に含まれる薬物の正確な分析法の確立と品質管理
- 73 【R040045】 さい帯血の血液細胞の性質を明らかにすることでさい帯血が脳梗塞治療にも応用できるかを調べる研究

※年度単位での公開のため、まだ実施されていない、または終了している場合があります。

研究の内容をお知りになりたい方は下記ホームページでご確認いただくか、受付の職員にお申し出ください。 <http://www.jrc.or.jp/activity/blood/koubo/>